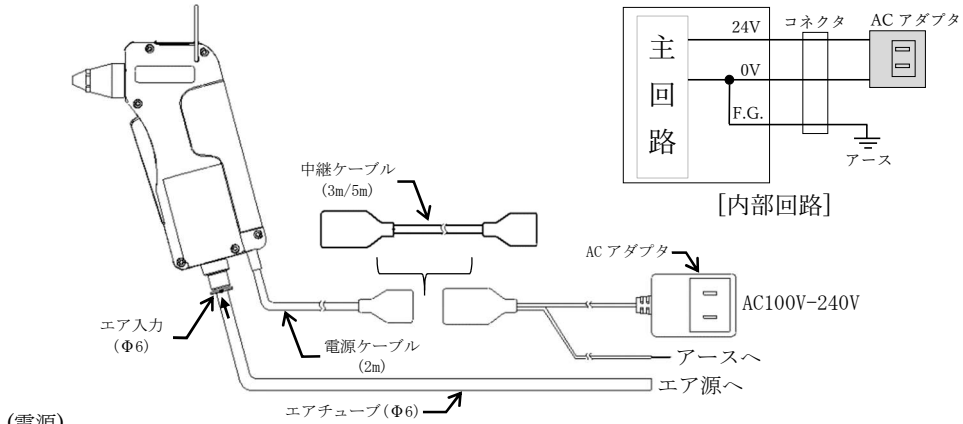
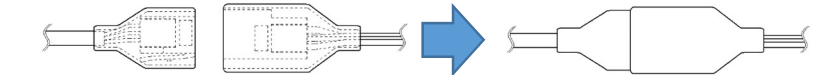


電源配線/エア配管

本体と AC アダプタについて、下図の接続図に従って配線してください。



- (電源)
- 本体の電源ケーブルを AC アダプタのコネクタへ接続してください。
ホコリ等が入らないようにコネクタカバー同士を嵌め込んでください。
 - アースケーブル(緑線)を接地してください。
注) 0V(AC アダプタ出力)と E.G.(アースケーブル)は本体内部で接続されています。
接地が不完全な時には除電性能が低下します。
 - AC アダプタを電源 (AC100V・240V 50/60Hz) に接続して下さい。
 - 中継ケーブルを使用する場合は、本体の電源ケーブルと AC アダプタの間に接続してください。



注) AC アダプタのケーブルは耐屈曲ケーブルではありません。
可動する恐れがある場合は、AC アダプタのケーブル又はコネクタを固定してください。
本体のケーブルと中継ケーブルは耐屈曲ケーブルです。ケーブル曲げ半径は 32mm 以上としてください。

- (エア)
- 使用流体は水や油を除去した清浄な空気を使用してください。
 - 本体のエア継手にエアチューブ (外径 φ 6mm) を取り付けてください。
(推奨チューブ：ウレタンチューブ・ナイロンチューブ)
注) エアチューブを 3m 以下としてください。
 - エアチューブはレギュレータを介してエア源に配管してください。
 - エアチューブはφ6 エア継手付近で極端に曲げたり、こじったりしないでください。エア漏れの原因となります。ナイロンチューブを使用した場合の最小曲げ半径のめやすは 30mm です。

6. 操作

警告

- 人体、特に顔や目などにノズルを向けて使用しないでください。身体にケガを負う可能性があります。
- エアブローにより飛散物が目に入ったり、騒音性難聴を起こしたりする可能性があるため、保護メガネと耳栓を着用してください。

注意

- エアガン内部には圧電セラミックスが内蔵されていますので、落下や衝撃を加えることは避けて下さい。
- 本体先端ノズルは内部回路と接続されていますので導体や活線部へ接触させないでください。
- 専用ノズル以外は使用しないでください。またノズルは改造しないでください。製品の故障、機能停止や破損の原因となります。
- 電源/放電中表示 LED(緑)が点灯しない場合や異常表示 LED(赤)が点灯する場合は直ちに電源を OFF し、本書「5. 設置・配線および配管」をご参照ください。それでも解消しない場合は本書「7. メンテナンス」及び「8. トラブルシューティング」をご参照ください。

操作

- ①電源配線、エア配管を確認してください。
- ②レギュレータにて調圧したエアを本体に供給してください。印加する圧力は必ず使用圧力範囲内に設定してください。
- ③AC アダプタに電源(AC100-240V 50/60Hz)を供給してください。
- ④本体をしっかり并保持しノズル先端をワークに向け、レバーを握りこんでください。
注) イオンバランスに影響する可能性がありますので本体上部は握らないでください。

電源/放電中表示 LED(緑色)が点灯しイオンエアがノズル先端から吹き出します。
イオンエアを停止するには、握りこんでいるレバーを開放してください。レバーが初期の状態に戻り、電源/放電中表示 LED が消灯しイオンエアが停止します。

状態	表示		内容
	緑	赤	
通電状態(電源 ON)	●⇒○	○	電源投入時、緑 LED2 秒間点滅し、その後消灯。
レバーON	●	○	レバーON にて正常放電中緑 LED 点灯。
放電異常	○	●	放電中に放電異常が発生。異常中赤 LED 点灯。

●: 点灯 ○: 消灯 ◎: 点滅

- ⑦本体先端に照明 LED があります。
照明 LED は、照明 LED 用スイッチの設定に応じて点灯/消灯をします。

スイッチ位置	LED ON OFF SYNC	LED ON OFF SYNC	LED ON OFF SYNC
ラベル表示	ON	OFF	SYNC
照明 LED(白)	常時点灯	常時消灯	レバーと連動点灯・消灯

- ⑧パルス周波数調整は、本体側面の周波数調整トリマーを回すことで調整できます。
調整には精密マイナスドライバーをご使用ください。
対象形式：DTY-ELG31-PAU／DTY-ZPA-G31 使用時

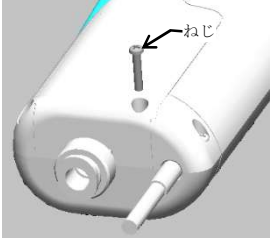
- ＋方向 (反時計回り)：周波数が高くなります。
- －方向 (時計回り)：周波数が低くなります。



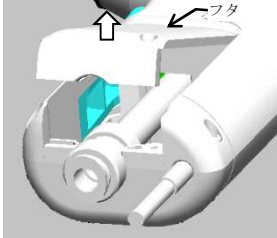
- 注) レバーは一気に握り込んでください。
少量の握りではパルスブローにならない可能性があります。
- 注) トリマーは反時計回りで周波数が上がり時計回りで下がります。
トリマーを全開全閉したあと、必要以上にトリマーを回し過ぎると構成部品が破損する原因になります。
- 注) 配管条件により周波数特性と流量特性は異なります。φ6 エアチューブは 3m 以下として下さい。

IN ポート／パルスブローユニットの交換

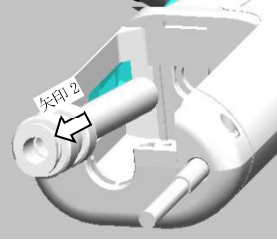
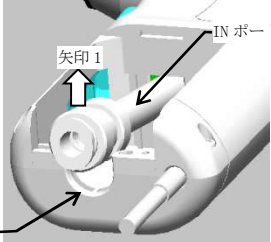
- 例) IN ポート(DTY-ZNP-G31) からパルスブローユニット(DTY-ZPA-G31)への交換
※パルスブローユニットから IN ポートへの交換も同様の手順で行ってください。
- ①本体側面のねじを外します。フタを矢印の方向へ上げて取り外します。



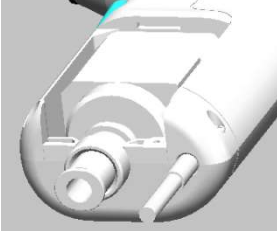
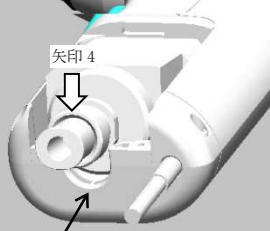
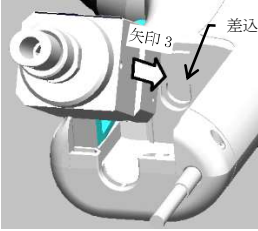
※その他のねじは
外さないでください



- ②IN ポートを矢印 1 の方向に上げて半円部から外し、矢印 2 の方向に引き抜きます。



- ③パルスブローユニットの先端突起部を本体差込口に合わせ、矢印 3 の方向に押し込みます。
押し込んだ状態で矢印 4 の方向に押し下げて、半円部に入れ込みます。



- ④半円部に完全に入っていることを確認し、フタを嵌めます。
この時にフタが嵌まらない場合は、パルスブローユニットが半円部に入っていない事が考えられますので、入れ直してください。
ねじでフタを固定してください。
(締め付けトルク 15～20N・cm ※トルクが適切でないと本体を破損することがあります。)

注) パルスブローユニットより IN ポートに変更した場合は、添付されているラベルを
本体側面のパルスブロー周波数調整トリマー部に貼り付けてください。



IN ポートよりパルスブローユニットに変更した場合は、周波数調整穴を塞いでいるラベルを剥がして使用してください。

7. メンテナンス

警告

- メンテナンス作業は、必ずエアおよび電源を切った状態で行ってください。事故や故障の原因となります。
- 放電針先端は尖っていますので、取り外し及び清掃の際は十分注意してください。

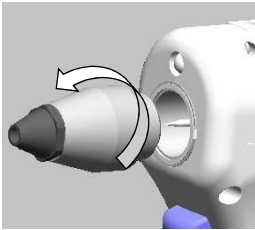
注意

- アルコール等を使用するときは換気を十分に行なってください。またアルコールでの清掃後は十分に乾燥させ、本体が濡れていないことを確認しご使用ください。
- 本体の損傷の原因になりますので、清掃にはワイヤブラシは絶対に使用しないでください。
- ノズルの取り付けは、緩みが無くなるまで手で締め付けてください。必要以上の締め付けはしないでください。また、工具等を使って締め付けしないでください。

放電針に汚れが付着しますと除電性能が低下します。
定期的、又は、除電効果が低下してきたら清掃してください。

清掃方法

ノズルを回転させて本体から取り外し、アルコール(IPA)を染み込ませたウエス、綿棒などで、本体内部の放電針(先端)とその周辺を清掃して下さい。十分乾燥させてから、ノズルをしっかりと取り付けてください。



放電針の交換方法

放電針は消耗品であり交換が必要です。放電針 (5 本セット：DTRY-ZEM-G31) を交換する際は必ず専用工具 (DTRY-ELB21) とトルクドライバーを組み合わせる作業を行い、交換時の締め付けトルクは 15～20N・cm に設定してください。トルクが適切でないと本体のねじを破損することがあります。

8. トラブルシューティング

症 状	主な発生原因	対処方法
電源が入らない	電源未投入	AC アダプタが電源へ接続されているか確認してください。 本体と AC アダプタのコネクタが外れていないか確認してください。
エアが出ない	エア未投入	圧縮エアが供給されているかを確認してください。
異常表示 (赤) が点灯	放電針の汚れ	放電針(先端)と放電針周辺を清掃してください。
	放電針短絡	放電針付近に導電性のものが無いか確認してください。
	ノズルがアース体へ接触	ノズルをアース体へ接触させないでください。
除電しない	ノズルの緩み	ノズルを本体へしっかりと締め付けてください。
	放電針の汚れ、破損	本書「7. メンテナンス」を参照に放電針のメンテナンスまたは交換を行なってください。

※その他、製品の取扱いや注意事項に関しては、ご使用になる前に、ホームページまたは静電気除去ユニット イオナイザーカタログの「安全上のご注意(イオナイザー共通)・取扱い要領と注意事項(共通注意事項)」を参照してください。
※製品に関するお問い合わせは最寄りの弊社営業所または、下記技術サービスセンターへお問い合わせください。



株式会社コガネイ
技術サービスセンター
TEL<042>383-7172